

放射線利用フォーラム 2017 in 高崎

第1回 QST 高崎研シンポジウム

2017年1月26日(木) 13:00~17:30 フォーラム 及び シンポジウムポスターセッション

2017年1月27日(金) 9:15~17:10 シンポジウム講演

高崎量子応用研究所 多目的ホール(高崎市綿貫町1233番地)

入場無料

放射線利用フォーラム

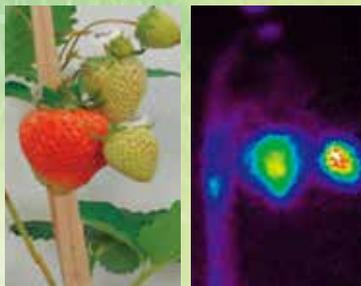
1月26日(木)

【施設見学】(事前に申し込みをお願いします)

【高崎研の紹介】高崎量子応用研究所の概要

【高崎研の成果報告】

- 放射線を描くことで見えてくる生命のしくみ
- 新材料ゼラチンゲルによる再生医療への挑戦
- 量子ビームが解き明かすタンパク質の働き
- 実験室でのイオンマイクロビーム利用の実現を目指して



葉で吸収された炭酸ガスが糖としてイチゴの実に蓄積する様子を画像化



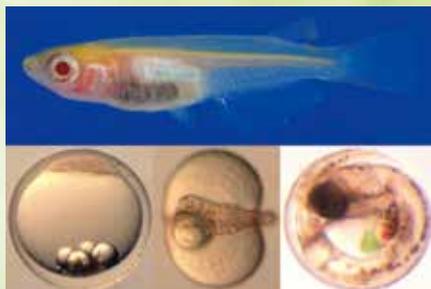
色の変化で水素ガスを瞬時にキャッチする高性能検知器

【実用化が進展する技術の紹介】

- 水素ガスを瞬間キャッチ — 光学式水素ガス検知スイッチの製品化 —
(株)村上技研産業 村上 功、量研機構 山本 春也

【実演・展示・技術相談】

(シンポジウムポスターセッションを併設)



狙った位置にイオンを当てた卵からメダカがふ化する様子を観察

QST高崎研シンポジウム

1月26日(木) 【ポスターセッション】

1月27日(金)

【材料・物質科学】

- 中性子及びX線を用いた高性能燃料電池膜の構造解析 他2件

【特別講演】

- 加速器質量分析法による¹⁴C年代測定
— 最近の技術的進歩と利用の発展 —
名古屋大学名誉教授 中村 俊夫

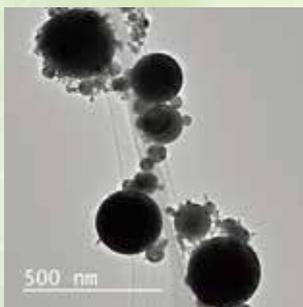
【表彰式/受賞講演】(施設共用の優秀課題 3件)

【生命科学】

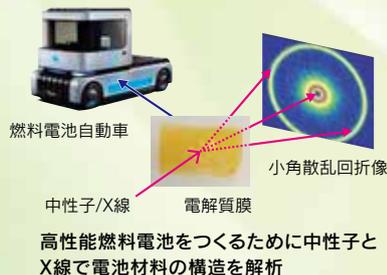
- 重イオン局部照射を用いたメダカ生体機能解析研究 他2件

【量子ビーム基盤】

- レーザー照射による溶液からの有用元素分離技術他 他2件



レーザー照射で希少金属パラジウム微粒子を溶液から回収



高性能燃料電池をつくるために中性子とX線で電池材料の構造を解析

アクセス【交通のご案内】

高崎市内循環バス「ぐるりん」(高崎量子応用研究所下車)

- JR高崎駅東口から(群馬の森線9・10系統、岩鼻線15系統)
- JR倉賀野駅から(岩鼻線15系統)

直通バス

- 1/26 高崎駅東口発10:00、12:00 高崎量子応用研究所発17:45
- 1/27 高崎駅東口発 8:30 高崎量子応用研究所発17:20

タクシー

- JR高崎駅東口より約7 km(約20分)
- JR新町駅より約5km(約12分)
- JR倉賀野駅より約3km(約10分)

自動車

- 関越道 高崎ICより約6km
- 上信道 藤岡ICより約4.5km
- 北関東道 前橋南ICより約6km
- 高崎玉村スマートICより約2km



主催 ■ 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構(QST)
量子ビーム科学研究部門 高崎量子応用研究所

共催 ■ 高崎市

後援 ■ 文部科学省、群馬県、(公財)群馬県産業支援機構、
高崎商工会議所、NPO法人北関東産官学研究会

お問合せ ■ 量子ビーム科学研究部門 研究企画室

TEL:027-346-9216 FAX:027-346-9385

URL http://www.taka.qst.go.jp/information/symposium/qst_1/

E-mail takasaki-event@qst.go.jp